## 東書 調査内容 2 15 三省堂 ■ 各領域・事項の単元(教材)数 ■ 各領域・事項の単元(教材)数 1 - (1)・各領域(「話すこ 2年 3年 合計 3年 1年 1年 2年 合計 と・聞くこと」「書 話す・聞く 4 話す・聞く 4 13 4 12 4 書く 5 17 書く 6 6 6 4 6 16 くこと」「読むこ 18 18 17 50 と」)及び「知識及 読む 18 54 読む 17 16 41 | 言葉の使い方や特徴 15 14 12 言葉の使い方や特徴 21 び技能」の各事項 情報の扱い方 11 3 4 3 情報の扱い方 の学年ごとの教材 4 1 6 我が国の言語文化 我が国の言語文化 19 16 の配分 ■ 全国学力・学習状況調査等の課題(語彙の拡充) ■ 全国学力・学習状況調査等の課題(語彙の拡充) ・語彙を豊かにする 「広がる言葉」(例) 1年 P.127 「語彙を豊かに」(例) 1年 P.197 指導の内容と分量 学年 1年 1年 学年 2年 3年 合計 2年 3年 個数 個数 15 5 14 12 (巻末) (例) 1年P.324-327 ・「語彙の広がり」 1 - (2)■「書くこと」の言語活動の種類と学習内容の系統 ■「書くこと」の言語活動の種類と学習内容の系統 ・「書くこと」の領域 主に説明的な文章 主に実用的な文章 主に説明的な文章 主に実用的な文章 主に文学的な文章 における、各学年 編集 創作 創作 に位置付けられた 1年 | 〇 | 〇 | $\bigcirc$ $\bigcirc$ 1年 〇 〇 $\bigcirc$ $\bigcirc$ 言語活動、系統性 2年 2年 0 $\bigcirc$ ・「知識及び技能」(2) 3年 3年 $\bigcirc$ $\bigcirc$ 情報の扱い方に関 ■全国学力・学習状況調査等の課題 ■全国学力・学習状況調査等の課題 する事項との関連 ・「知識及び技能」(2)情報の扱い方に関する事項との関連 「知識及び技能」(2)情報の扱い方に関する事項との関連 を図った「書くこと」の単元数 を図った「書くこと」の単元数 2年 学年 2年 1年 1年 3年 合計 3年 合計 個数 個数 ■「読むこと」における言語活動の内容 ■「読むこと」における言語活動の内容 1 - (3)・「読むこと」領域の < 2年 P. 184-201「走れメロス」(太宰治)の言語活動> < 2年 P. 208-228「走れメロス」(太宰治)の言語活動> 内容を指導するに ○冒頭からメロスが王城を出発するまでの場面を読み、作品の ○メロスとディオニスは、はじめの場面では、それぞれどのよ あたって設定され 設定を確かめ、メロスと王の人物像を捉える。 うな人物として描かれているか。メロスが王城を出発するま ている言語活動 ○村を出てから刑場に突入するまでの間に、メロスの考えはど での叙述を根拠にしてまとめる。 のように変化しているだろうか。場面の展開に沿って考える。 ○妹の結婚式のあと、村を出発してから刑場にたどり着くまで ○最初の場面と最後の場面での王の描かれ方に着目し、どのよ に、メロスにとってどのような困難があったか、箇条書きで うに異なるかを比べる。また、なぜ王にそのような変化が起 整理する。 きたのかを考える。 ○場面の展開に即して、メロスの心情の変化を捉える。また、 ○濁流の場面では、場面の緊迫感を表すため、表現の仕方にど メロスの心情を表す表現の効果について考える。 のような工夫がみられるだろうか。気づいたことを挙げる。 ○王が「どうか、わしをも仲間に入れてくれまいか。」と言った ○メロスはなぜ走り続けたのだろうか。自分の考えをまとめ、 理由について、メロスとの出会いの場面と比べながら考える。 気付いたことを挙げる。 ○物語を通して、メロスはどのような人物だと思うか。メロス の人物像を表す言葉を考え、理由とともに交流する。 ■「個別最適な学び」と「協働的な学び」の一体化の充実に資す ■「個別最適な学び」と「協働的な学び」の一体化の充実に資す 2 - (1)る構成上の特徴 (例:1年P.190-205「少年の日の思い出」) る構成上の特徴(例:1年P.206-220「少年の日の思い出」) ・「個別最適な学び」 と「協働的な学び」 内容 有無 内容 有無 内容 内容 有無 の一体化の充実に $\bigcirc$ 発展的な学習 発展的な学習 学習活動の明記 学習活動の明記 $\bigcirc$ 資する内容の位置 目標の位置付け 語彙の拡充資料 $\bigcirc$ 目標の位置付け 語彙の拡充資料 付け 見通し・学習過程の明記 国語学習用語の紹介 $\bigcirc$ 見通し・学習過程の明記 国語学習用語の紹介 $\bigcirc$ $\bigcirc$ 学び方の明記 $\bigcirc$ 学び方の明記 関連図書紹介 関連図書紹介 $\bigcirc$ 振り返りの明記 $\bigcirc$ 振り返りの明記 $\bigcirc$ ■「個別最適な学び」 ■「個別最適な学び」 ・「デジタルコンテンツの使い方」(巻頭) ・「思考の方法」(巻頭・「学びの道しるべ」内) ・「思考のヒント」(巻末) ・「学習用語辞典」(巻末)・「語彙の広がり」(巻末) 2 - (2)■評価・改善 ■評価・改善 ○振り返る学習活動の箇所数 ○振り返る学習活動の箇所数 ・自らの学びを振り返 3年 って評価・改善しよ 学年 2年 学年 3年 1年 合計 1年 合計 2年 うとするための構 個数 19 18 個数 20 19 成上の特徴 ■二次元コード読み取り学習コンテンツ数 -次元コード読み取り学習コンテンツ数 2 - (3)・生徒用のデジタル 学年 3年 学年 3年 1年 2年 合計 1年 2年 合計 学習コンテンツ 個数 192 個数 95 273 3 - (1)■教科書の総ページ数、 ■教科書の総ページ数、 重量(g) 重量(g) ・教科書の総ページ 学年 1年 3年 学年 1年 2年 3年 数、重量 総ページ数 総ページ数 306 310 322 366 366 366 525 582 584 553 554 重量 584 各行の下に数字と点を付し、文章の行数を示している。 色の違いに加えて、模様や記号、文字情報で識別できる 行の下に数字を付し、文章の行数を示している。 色の違いに加えて、模様や記号、文字情報で識別できる - (2) ・学びやすい配慮 ようにしている。 ようにしている ・学習の流れや、重点を明示している。 学習の流れや、重点を明示している。 ■ 学習のポイントを示すマーク、コーナー等 3 - (3)■ 学習のポイントを示すマーク、コーナー等 ・「読み方を学ぼう」: 学習のポイントや前後の単元とのつ ・学習のポイントを ・「言葉の力」: 学習のポイントを示す。 示すマーク、索引 ・「広がる言葉」: 教材内の表現に関連付けて、語彙の拡充 ながりを示す。 ・「語彙を豊かに」: 教材内の表現に関連付けて、語彙の拡 等 に資する学習を示す。 ・「未来」: 「未来を考えるための9つのテーマ」の中から、 充に資する学習を示す。

・「思考の方法」:情報の取扱いの方法を示す。

関連するテーマを示す。

示すマーク、索引

資する学習を示す。

挙げている。

・「振り返り」:単元で身に付けたい資質・能力を踏まえた項目を

## 調査内容 17 教出 38 光村 ■ 各領域・事項の単元(教材)数 ■ 各領域・事項の単元(教材)数 1 - (1)・各領域(「話すこ 2年 3年 合計 3年 合計 1年 1年 と・聞くこと」「書 話す・聞く 話す・聞く 5 5 6 6 19 15 5 13 30 くこと」「読むこ 6 18 10 読む 17 18 20 55 読む 20 21 23 64 と」)及び「知識及 言葉の使い方や特徴 10 30 言葉の使い方や特徴 13 12 39 10 10 14 び技能」の各事項 情報の扱い方 3 2 2 情報の扱い方 4 4 3 11 の学年ごとの教材 我が国の言語文化 5 15 我が国の言語文化 11 12 15 38 の配分 ■ 全国学力・学習状況調査等の課題(語彙の拡充) ■ 全国学力・学習状況調査等の課題(語彙の拡充) ・語彙を豊かにする 「言葉・情報」(例) 1年 P.216 「言の葉ポケット」(例) 1年 P.185 指導の内容と分量 1年 1年 合計\_ 個数 14 15 10 個数 12 12 39 9 33 「語彙ブック」(例) 1年P.267-274 ・「理解に役立つ言葉」「表現に役立つ言葉」(巻末) (例) 1年 P.318-321 ■「書くこと」の言語活動の種類と学習内容の系統 ■「書くこと」の言語活動の種類と学習内容の系統 1 - (2)・「書くこと」の領域 主に説明的な文章 主に実用的な文章 主に説明的な文章 主に実用的な文章 主に文学的な文章 主に文学的な文章 における、各学年 説明 記録 意見 批評 納・糖 揺・メール 編集 説明 記録 意見 批評 案内・報告 手紙・メール 編集 創作 創作 に位置付けられた 1年 $\bigcirc$ $\bigcirc$ 1年 $\circ$ 言語活動、系統性 2年 〇 $\bigcirc$ $\bigcirc$ 2年 〇 $\bigcirc$ $\bigcirc$ $\bigcap$ ・「知識及び技能」(2) 3年 〇 $\bigcirc$ $\bigcirc$ $\bigcirc$ $\bigcirc$ 3年 $\bigcirc$ $\bigcirc$ 情報の扱い方に関 ■全国学力・学習状況調査等の課題 ■全国学力・学習状況調査等の課題 する事項との関連 ・「知識及び技能」(2)情報の扱い方に関する事項との関連 を図った「書くこと」の単元数 「知識及び技能」(2)情報の扱い方に関する事項との関連 を図った「書くこと」の単元数 1年 学年 1年 2年 3年 3年 合計 個数 3 3 個数 3 8 1 - (3)■「読むこと」における言語活動の内容 ■「読むこと」における言語活動の内容 ・「読むこと」領域の <2年 P. 204-221「走れメロス」(太宰治)の言語活動> < 2年 P. 248-268「走れメロス」(太宰治)の言語活動> 内容を指導するに ○「メロス」「ディオニス」「セリヌンティウス」は、それぞれどのような ○作品の設定を確かめ、人物、時、場所、出来事などに着目して幾 あたって設定され 人物かをまとめる。 つかの場面に分ける。 ている言語活動 ○「走れ!メロス。」と命令形で語られているのはなぜかを考える。 ○冒頭からメロスが王城を出発するまでの場面で、メロスと王はど ○「私は、途中で一度、悪い夢を見た。」とは、どのようなことをさし んな人物として描かれているかを読み取る。 ているかを考える。 ○村から刑場に向かう途中、メロスの考え方や心情は、どんな出来 事をきっかけに、どのように変化したかを読み取る。 ○メロスが刑場に向かって走ることの意味について、2つの表現 「私は、なんだか、もっと恐ろしく大きいもののために走っている ○刑場で、王の考え方や心情は、何をきっかけにどう変化したかを のだ。」「ただ、訳のわからぬ大きな力に引きずられて走った。」を 読み取る。 比較しながら考え交流する。 ○ここまでに読み深めたことや、魅力を語り合う観点を参考に、自 ○語り手によるメロスの呼び方が、「メロス」→「私」→「メロス」と変 分が感じた作品の魅力を文章にまとめ、グループで語り合う。 化するような語り方がもたらす効果について話し合い、意見を交 流する。 2 - (1)■「個別最適な学び」と「協働的な学び」の一体化の充実に資す ■「個別最適な学び」と「協働的な学び」の一体化の充実に資す ・「個別最適な学び」 る構成上の特徴 (例:1年P.246-262「少年の日の思い出」) る構成上の特徴 (例:1年P.206-221「少年の日の思い出」) と「協働的な学び」 有無 有無 内容 有無 内容 有無 内容 内容 の一体化の充実に 学習活動の明記 $\bigcirc$ 学習活動の明記 $\bigcirc$ 発展的な学習 発展的な学習 資する内容の位置 目標の位置付け $\bigcirc$ 語彙の拡充資料 目標の位置付け $\bigcirc$ $\bigcirc$ 語彙の拡充資料 $\bigcirc$ 付け 見通し・学習過程の明記 国語学習用語の紹介 $\bigcirc$ 見通し・学習過程の明記 国語学習用語の紹介 0 $\bigcirc$ $\bigcirc$ 0 学び方の明記 関連図書紹介 学び方の明記 関連図書紹介 0 0 振り返りの明記 振り返りの明記 ■「個別最適な学び」 ■「個別最適な学び」 ・「学びナビ」一覧(巻末) ・思考の地図(巻頭)・主体的な学びのために(巻頭) ・「理解に役立つ言葉」「表現に役立つ言葉」(巻末) ・語彙ブック(巻末) ■評価・改善 ■評価・改善 2 - (2)○振り返る学習活動の箇所数 ○振り返る学習活動の箇所数 ・自らの学びを振り返 学年 学年 って評価・改善しよ 1年 3年 合計 1年 3年 合計 うとするための構 個数 31 33 28 92 個数 20 19 15 54 成上の特徴 二次元コード読み取り学習コンテンツ数 次元コード読み取り学習コンテ (3) ンツ数 ・生徒用のデジタル 学年 3年 学年 1年 3年 合計 1年 2年 合計 2年 学習コンテンツ 個数 49 48 149 個数 95 84 68 247 ■教科書の総ページ数、 重量(g) ■教科書の総ページ数、 (1)重量(g) ・教科書の総ページ 学年 1年 3年 学年 1年 3年 総ページ数 数、重量 総ページ数 373 340 357 357 344 344 587 612 579 593 583 重量 582 3 - (2)各行の下に数字と点を付し、文章の行数を示している 各行の下に数字と点を付し、文章の行数を示している。 ・学びやすい配慮 色の違いに加えて、模様や記号、文字情報で識別できる 色の違いに加えて、模様や記号、文字情報で識別できる ようにしている。 ようにしている。 ・学習の流れや、重点を明示している。 ・学習の流れや、重点を明示している。 ■ 学習のポイントを示すマーク、コーナー等 ■ 学習のポイントを示すマーク、コーナー等 - (3) ・「学びナビ ヒント」:学習のポイントを示す。 ・「学びのカギ」:学習のポイントや前後の単元とのつながりを示 ・学習のポイントを ・「言葉・情報」: 教材内の表現に関連付けて、語彙の拡充に

・「言の葉ポケット」: 教材内の表現に関連付けて、語彙の拡充

に資する学習を示す。 ・「振り返る」:単元で身に付けたい資質・能力を踏まえた項目

を挙げている。